

2025 年 8 月 2 日 新横浜公園の生きもの博士になろう！2025

第 2 回「夏の夜の昆虫観察会」を開催しました。

鶴見川多目的遊水地として、水と緑が豊かな新横浜公園には、多種多様な生きものが生息しています。生きものを好きになり、理解を深めていただく機会として、今年度も「新横浜公園の生きもの博士になろう！2025」（協賛：株式会社春秋商事）を開催しています。

第 2 回は、木にしかけたバナナトラップに集まってくる昆虫やセミの羽化を観察しました。講師は、NPO 法人鶴見川流域ネットワーク（以下、npotr ネット）さんです。

日の入りは 18 時 45 分でしたので、暗くなり始めて、日中の厳しい暑さも少し和らいできました。とはいえものの、暑さ指数は厳重警戒の 28 度に近い状況でしたので、熱中症には十分注意してスタートしました。

60m ほど歩くと、木の上の方からシリシリリリ…という虫の鳴き声か聞こえてきました。ヤブキリというキリギリスの仲間です。枝葉の中で鳴いているようなので姿は見えず。意識すると他の木からも同じような鳴き声がたくさん聞こえていました。進みながら木を 1 本 1 本見ていると、クスノキの幹をセミの幼虫が登っていました。地面を歩いている幼虫がいるかもしれないので注意して木に近づいて観察しました。登っていたのはアブラゼミ。羽化のピークは過ぎていたようなので、まずは幼虫を見ることができて一安心です。



木から聞こえてきた虫の声は、ヤブキリでした。



クスノキを登るアブラゼミの幼虫

バナナトラップを仕掛けた場所に到着です。今回は8ヶ所に仕掛けました。はじめにスズメバチなど危険な生きものがないかチェック。OKの合図が出て、ライトを照らしながら木に近づいていくと、大きな昆虫がトラップについています！なんと、カブトムシのオスとメスがきていました。一ヶ所目から現れたカブトムシにみなさんも驚き。子どもたちには触ってふれあってもらいました。次のトラップも期待でワクワクですね。2ヶ所目はトラップの表側も、裏側に隠れている虫もいませんでした。すぐ隣の3ヶ所目を見ると、こちらにはノコギリクワガタのオスとメスがやってきていました。立派な大あごのノコギリクワガタが観察会のトラップに来たのは数年ぶりだったようで、案内の npoTR ネットの阿部さんも興奮の様子でした。その後のトラップでは、カブトムシやコクワガタ（オス、メス）、クロカナブン、シロテンハナムグリ、ベニスズメなどを見ることができました。夕方に下見をしたときはあまりいなかったようなので、3時間ほどの間に来てくれたようです。



観察の様子



カブトムシのオスとメス（1ヶ所目）



ノコギリクワガタのオスとメス（3ヶ所目）



コクワガタのオス（6ヶ所目）



クロカナブンのオス（6ヶ所目）



カブトムシのオス（7ヶ所目）



カブトムシのメス（8ヶ所目）

次のトラップへ向かう途中には、大きなショウリョウバッタやトノサマバッタを見つけて、一時、バッタとり大会になりました。子どもたちはやっぱりバッタ大好きですね。



ショウリョウバッタ



トノサマバッタ

羽化していたセミは少なかったですが、抜け殻がたくさんついていたソメイヨシノやトチノキで無事に観察することができました。暗闇の中の全身まっ白な姿は神秘的な印象を受けます。みなさんも魅入るように観察していました。



アブラゼミの羽化

夏の夜の昆虫観察会は、毎年たくさんの方にお申込みいただいているため、次回の生きものの観察会も同じ内容で開催します。

なお、今回観察会のために特別にトラップ設置を行いました。普段は無断でのトラップ設置は禁止となっております。公園内で捕まえた昆虫等の生きものについて、観察後は放してあげるなどの配慮をお願いいたします。